【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】令和1年7月11日(2019.7.11)

【公開番号】特開2018-129902(P2018-129902A)
【公開日】平成30年8月16日(2018.8.16)
【年通号数】公開・登録公報2018-031
【出願番号】特願2017-20191(P2017-20191)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｊ　7/02　(2016.01)
Ｈ０２Ｊ　7/00　(2006.01)
Ｈ０２Ｊ　7/10　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/44　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　10/48　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　16/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｊ　7/02　Ｈ
Ｈ０２Ｊ　7/00　Ｐ
Ｈ０２Ｊ　7/10　Ｌ
Ｈ０２Ｊ　7/10　Ｃ
Ｈ０１Ｍ　10/44　Ｐ
Ｈ０１Ｍ　10/48　Ｐ
Ｈ０１Ｍ　10/48　３０１
Ｂ６０Ｒ　16/04　Ｗ

【手続補正書】
【提出日】令和1年6月4日(2019.6.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
制御部６２は、図５の制御を開始した後、まず、車載用蓄電部２０を放電するように放電回路部３６（図２）に放電動作を行わせる（ステップＳ３１）。具体的には、車載用蓄電部２０から放電電流を流すように放電回路部３６（図２）に対し放電動作を行わせ、車載用蓄電部２０の出力電圧が予め定められた所望の放電目標電圧となるように放電を制御する。制御部６２は、このような放電制御を開始した後、ステップＳ３２において、放電目標電圧に到達したか否かを判断する。ステップＳ３２において、車載用蓄電部２０の出力電圧が放電目標電圧以下になったと判断した場合（ステップＳ３２でＹｅｓの場合）、ステップＳ３３に進み、そうでない場合には、ステップＳ３１の放電動作を継続するとともにステップＳ３２の判断を繰り返す。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５４】
図５の制御を行う場合、図６のようなシーケンスで各セルの充電又は放電がなされる。図６の例では、図５の制御の実行に応じて車載用蓄電部２０の放電が開始した後、各セル

が次第に放電される。そして、車載用蓄電部２０の出力が放電目標電圧に達した後（図６の例では時間ｔｃの後）、放電回路部３６による放電は停止する。その後、図５の制御によってセル電圧の均等化制御がなされる。このような均等化制御において、各セル電圧の測定は、例えば、時間Ｔ１の間隔で行われる。図６のシーケンスでは、検査時間ｔｄで１番目のセル２１のセル電圧が第１閾値Ｖ３を超えているため、検査時点ｔｄから１番目のセル２１に対して個別に放電制御がなされる。この放電制御は、１番目のセル２１のセル電圧が第２閾値Ｖ４以下になるまで実行される。更に、時間ｔｅで２番目のセル２２のセル電圧が第１閾値を超えているため、検査時点ｔｅから２番目のセル２２に対して個別に放電制御がなされる。この放電制御は、２番目のセル２２のセル電圧が第２閾値Ｖ４以下になるまで実行される。このようにセル電圧の均等化制御がなされ、全セルが放電状態でない状態が所定の基準時間Ｔ２だけ継続した場合に、図５、図６で示すセル電圧の均等化制御を終了する。